

**第一学年の目標**

目的意識や学習意欲の向上に加えて、コミュニケーション能力をはじめ、専門的な知識・技能など、様々なスキルアップを目指す。

**学校の教育目標**

豊かな人間性と人格の完成を目指し、社会の発展に貢献し得る、心身ともに健全な海洋技術者を育成する。

**何ができるようになるか**

**○各学校で定める目標と育成する資質・能力**

- ・ 基本的な生活習慣やマナーを身に付けることができる。
- ・ 日々の学習習慣を身に付け、基礎学力の定着を図る。
- ・ コミュニケーション能力を身に付ける。

**何が身に付いたか**

**○総合的な探究の時間の学習評価**

- ・ 返事やあいさつなど、礼儀正しい振る舞いができる。
- ・ ノート・課題・プリントなどがしっかりと期日内に提出できる。
- ・ 学校行事などにおいて、クラス内での話し合いに参加し、積極的に活動する。

**子供たちの実態**

- ・ 自ら考えたり調べたりすることが苦手な生徒が多い。
- ・ 基本的に学習意欲が低く、水産海洋関連の目的意識も低い生徒が多い。
- ・ 規範意識・コミュニケーション能力・協調性が不足している。

**子供たちの発達をどのように支援するか**

**○配慮を必要とする子供への指導**

- ・ 教育相談・スクールカウンセラーの活用する。
- ・ 学年・クラス担任・各教科担任との情報を共有する。
- ・ 家庭・出身中学校・市町村など各関係機関と連携する。
- ・ 特別支援コーディネーターとの連携する。

**目指す子供たちの姿**

何事にも一生懸命取り組む姿勢を身に付け、日々の学習活動を通して、目的意識が向上し、地域や社会に認められる生徒になる。

**何を学ぶか**

**○各学校が定める内容（目標を実現するにふさわしい探究課題、探究課題を通して育成を目指す具体的な資質・能力**

- ・ 「道徳」の授業を通して、自ら考え、課題解決に向けて話し合いを持つような教育活動を実践していくこと。
- ・ 国語・英語・数学を中心とした普通科目では基礎基本をしっかりと定着させる。
- ・ 教科「水産」の専門科目では、生徒が目的意識を高める教育活動を実践していく。

**どのように学ぶか**

**○学習活動、指導方法等**

- ・ 道徳の教科書「ともに歩む」を活用してクラス内でグループ討論などを行い、主体的で対話的な深い学びの実践を行う。
- ・ 国語・英語・数学などの主要な普通科目については、チームティーチングで個のレベルに応じたきめ細かい指導を実践する。
- ・ 教科「水産」の専門科目では、「水産海洋基礎」の座学・実習により専門的な知識技術を身に付けると同時に協調性やコミュニケーション能力も向上させる取り組みを行う。  
(カッター操練では、忍耐力や協調性を養い、編網では複数の教員できめ細かい指導を実践)

**実施するために何が必要か ○指導体制（環境整備、家庭・地域との連携）**

- ・ 教科担当者会議や学年会議を行うことで、生徒の情報共有を担当教職員が把握する。
- ・ 地域社会（水産試験場・水族館・漁協・商工会議所など）との連携する。
- ・ 道徳コーディネーターを中心に、各担任と連携を図り、研修会などの参加・実施する。